



初期消火の大切さ(関東大震災 100年)

実施日時：5月21(日) 9:00~11:00

場所：下戸塚町会会館 (町会員や家族なら誰でも参加できます)

今年は、関東大震災100年目にあたります。日本でこれまでに起きた火災で、10万人以上の死者が出たのは、江戸時代以来3回だそうです。江戸時代の明暦の大火(1657年)、関東大震災(1923年)、そして東京大空襲(1945年)。「10万人以上の死者」って想像できますか？

関東大震災時の火災を取り上げながら、今日の街が昔と比べて安全になっているのか見てみましょう。過去のいくつかの地震火災での「出火率」(1万世帯当たりの出火件数)などを参考に、今日の川口市の地震火災を想定してみました。また、消火器の使い方の訓練もします。いざという時迷いなく使えることが大切です。小中学生、子どもさんも一緒に参加してください。お待ちしております。

下戸塚町会 自主防災部

マスクと筆記用具をご持参ください。消毒用アルコールは用意してあります。